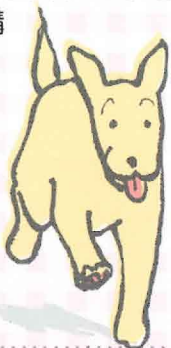


最期を看取ったら

老いたペットを看取るのは飼い主にとって辛く悲しいことです。しかしそれは、不慮の事故や病気でペットを死なせなかった事でもあります。老いた時の事を想定して心構えをしておきましょう。

- 病気、不慮の事故、老衰などで亡くなった時、供養の方法を決めておくとうい良いでしょう。
- たとえば・・・動物霊園、公共の斎場、火葬して庭に埋葬など
- ※ 土葬はご近所に迷惑がかけられない様にご自宅の庭に深く掘って埋葬して下さい。
- 棺が御必要な方には当院で用意させていただいております。
- 当院では下記の斎場・動物霊苑を案内させていただいております。問い合わせたり、見学されてもよいかと思います。



祖父江斎場(稲沢市) TEL:0587-97-0004

慈妙院(春日井市) TEL:0120-52-1059

長楽寺動物霊園(名古屋南区) TEL:052-811-6036

三仙院(土岐市) TEL:0120-3000-37

「人間も犬も  
みんなが通る  
老いの道」

子犬叱るな  
来た道だもの

老犬笑うな  
行く道だもの

二人旅  
来た道行く道

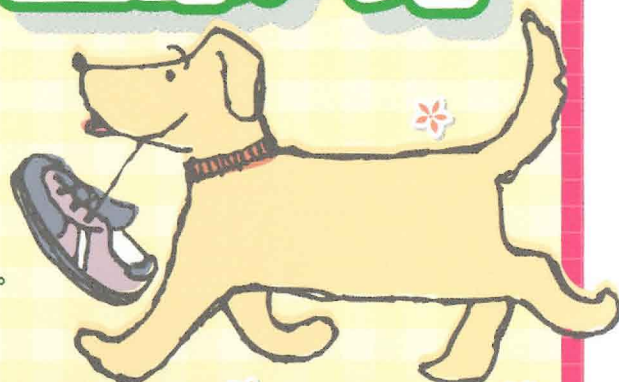
これから通る  
今日の道

通り直しの  
できぬ道

「老い」と「看取り」

私たちとおなじように、ペットも歳をとります。

ペットの寿命は延びたとはいえ、ほとんどは人より短いので、生活に潤いや安らぎを与えてくれたペットの最期を看取るのは飼い主の義務ともいえるでしょう。今回は、あまり考え準備されることのない老後と看取りの特集を組みました。



老後

「高齢」といわれる年齢は、動物種や品種、生活環境などにより異なります。一般にペットが高齢になると、視力、聴力、嗅覚などの感覚が衰えます。「歳のせい」と決め付けず、飼い主とのスキンシップや簡単なゲームなど、刺激を与えながら生活しましょう。下記のこと心掛けておくと安心ですね。

● 排泄は室内トイレで

老化は後ろ足からきます。負担をかけない様に室内で出来るように子犬のころからしつけておくと良いですね。

● おむつをつける

人間用おむつに穴をあけて。さらにナプキンを敷いても良いし、シーゾナルズ【犬用オムツカバー】も経済的です。

● フード

● 食べやすい工夫をしましょう。

- 例えば  ふやかしたドライフードに溶かした片栗粉をまぜてとろみをつけましょう。
- ゼラチンを煮溶かした中にスイカのしぼり汁をまぜてゼリーをつくりましょう。

● 少し痴呆がでてきたら

- 例えば  食べる時間を長持ちさせる(シートの上にフードをばらまいたり、トリーツホルダーにつめたりします)。

● 寝たきり介護になったら

水は口の横から入れてあげます。床ずれが出来ないように位置を変えてあげましょう。

【お勧め・ハニカムベット】

